

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券……償却原価法によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
出版物……移動平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
建物・構築物、什器備品及びソフトウェア…… 定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準
役員退職慰労引当金……役員退職慰労金規則に基づき、常勤役員の期末退職慰労金に相当する金額を計上している。
退職給付引当金……退職金規則に基づき、常勤委員、財団職員の期末退職給与の自己都合支給額に相当する金額を計上している。
賞与引当金 …………… 職員（年俸制適用職員を除く）の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち、当期に帰属する金額を計上している。
- (5) リース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引
引き続き通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。
- (6) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前 年 度 末 残 高	当 年 度 増 加 額	当 年 度 減 少 額	当 年 度 末 残 高
基本財産				
投資有価証券	999,970,979	95,727	66,706	1,000,000,000
定期性預金	29,021	0	29,021	0
小計	1,000,000,000	95,727	95,727	1,000,000,000
特定資産				
役員退職慰労引当資産	2,800,800	2,100,600	0	4,901,400
退職給付引当資産	60,082,100	12,447,400	6,166,700	66,362,800
国際対応積立資産	400,000,000	0	50,000,000	350,000,000
保守費用対応積立資産	70,000,000	100,000,000	34,000,000	136,000,000
固定資産取得積立資産	0	45,000,000	0	45,000,000
小計	532,882,900	159,548,000	90,166,700	602,264,200
合計	1,532,882,900	159,643,727	90,262,427	1,602,264,200

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当年度末残高	(うち指定正味 財 産 か ら の 充 当 額)	(うち一般正味 財 産 か ら の 充 当 額)	(うち負債 に 対 応 す る 額)
基本財産				
投資有価証券	1,000,000,000	(1,000,000,000)	(-)	-
小計	1,000,000,000	(1,000,000,000)	(-)	-
特定資産				
役員退職慰労引当資産	4,901,400	(-)	(-)	(4,901,400)
退職給付引当資産	66,362,800	(-)	(-)	(66,362,800)
国際対応積立資産	350,000,000	(-)	(350,000,000)	-
保守費用対応積立資産	136,000,000	(-)	(136,000,000)	-
固定資産取得積立資産	45,000,000	(-)	(45,000,000)	-
小計	602,264,200	(-)	(531,000,000)	(71,264,200)
合計	1,602,264,200	(1,000,000,000)	(531,000,000)	(71,264,200)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当年度末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当年度末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当年度末残高
建物・構築物	62,992,901	38,765,578	24,227,323
什器備品	100,303,672	56,978,940	43,324,732
ソフトウェア	235,177,792	121,006,986	114,170,806
合 計	398,474,365	216,751,504	181,722,861

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
野村証券第270回利付国債（10年）	99,983,222	100,275,900	292,678
野村証券第274回利付国債（10年）	200,022,500	202,117,000	2,094,500
野村証券第281回利付国債（10年）	100,018,908	102,395,500	2,376,592
大和証券第270回利付国債（10年）	99,983,222	100,280,000	296,778
大和証券第281回利付国債（10年）	200,037,816	204,800,000	4,762,184
SMBC日興証券第270回利付国債（10年）	99,983,222	100,280,000	296,778
SMBC日興証券第281回利付国債（10年）	200,037,816	204,800,000	4,762,184
合 計	1,000,066,706	1,014,948,400	14,881,694

*帳簿価額は、償却原価法で評価した後の金額となっている。

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益計上による振替額	16,995,425
合 計	16,995,425